



2020年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年8月14日

上場会社名 日本エアーテック株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6291 URL <http://www.airtech.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平沢 真也
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 (氏名) 渡辺 直樹 TEL 03 (3872) 9192
 四半期報告書提出予定日 2020年8月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第2四半期の業績 (2020年1月1日～2020年6月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第2四半期	5,001	0.6	345	45.2	490	30.2	364	28.2
2019年12月期第2四半期	4,974	7.6	237	110.3	377	44.2	284	49.8

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第2四半期	37.97	37.75
2019年12月期第2四半期	31.77	-

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期第2四半期	16,324	11,315	69.0	1,099.80
2019年12月期	14,664	10,112	68.4	1,122.13

(参考) 自己資本 2020年12月期第2四半期 11,256百万円 2019年12月期 10,034百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	-	0.00	-	22.00	22.00
2020年12月期	-	0.00	-	-	-
2020年12月期(予想)	-	-	-	22.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年12月期の業績予想 (2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,700	2.5	500	14.8	638	8.9	443	9.3	45.74

(注1) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

(注2) 1株当たり当期純利益については、第三者割当による行使価額修正条項付第9回新株予約権の行使完了により発行株式数が1,200,000株増加したことにより49円55銭から修正しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期 2 Q	10,351,000株	2019年12月期	9,097,500株
② 期末自己株式数	2020年12月期 2 Q	115,699株	2019年12月期	154,699株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期 2 Q	9,594,004株	2019年12月期 2 Q	8,940,845株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断される一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (4) 業績予想」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績	2
(2) 財政状態	2
(3) キャッシュ・フローの状況	3
(4) 業績予想	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績

当第2四半期累計期間における我が国の経済は、米中貿易摩擦問題や5G関連投資の遅れに加え新型コロナウイルス感染症が世界規模で急速に拡大した結果、国内外の経済は厳しい状況にあり、先行きも極めて不透明となっております。また海外渡航がほぼ停止し、国内業務ではテレワーク等による勤務形態の変更や人と人の接触を避け、エアロゾル感染を防御する工夫をしながら事業を継続しております。

当社の経営環境は、海外においては渡航制限により設備機器の据付が停滞しておりましたが、順次再開に向けての取り組みを進めております。

国内における電子工業分野では、半導体関連の製造装置メーカー及び自動車部品、電子材料関連の設備投資に多くの停滞がありましたが、緊急事態宣言解除後徐々に再開しております。一方、バイオリジカル分野では新型コロナウイルス対策機器の拡販の他、研究施設、製薬工場、化粧品工場、食品における設備投資が堅調に推移しました。

また、2020年3月9日の発行決議による、第三者割当による行使価額修正条項付第9回新株予約権は、2020年3月27日に行使を開始し、2020年4月3日に当社普通株式として1,200,000株の発行を完了しました。調達資金は、越谷新工場建設、本社隣接地でのショールーム及び事務所建築、省エネルギー技術及び感染症対策製品の普及拡大に向けた研究開発資金に充当しております。

このような状況の下、半導体及びフラットパネル関連の製造装置メーカー及び自動車部品、電子材料関連、電子部品製造メーカー等へWeb会議を積極的に活用するなど営業強化を図りました。

新型コロナウイルス感染症への対応においては、病院、PCR検査施設、薬局、クリニック、介護施設等多方面から急増している需要に対応すべく、草加(埼玉県)、加須(埼玉県)、伊勢崎(群馬県)の3工場他を機動的に活用し増産に努めております。同時に新型コロナウイルス対策機器の開発を並行し、「セルフセッティング式陰圧ブース」、「陰陽圧トンネルユニット」、「PCR検査室」、「診察・検体採取ブース」、その他車輦用装置等を上市しました。これら機器のダイレクトメールによる拡販、及びホームページや各種メディアにおける補助金対象機器の周知と当社のPRに注力しております。

なお、新型コロナウイルス感染症の収束時期ははまだ不透明であり、取引先及び従業員の安全を確保しつつ関連機器の受注と生産対応を継続して参ります。

製品別の販売状況は、「クリーンパーティション」「安全キャビネット」「無菌クリーンテント」「パッケージ式クリーンユニット(陰圧ユニット含む)」「フィルターユニット」等が増加しました。また、「クリーンルーム」「サーマルクリーンチャンバー」「アイソレーター」等は減少しました。

収益面におきましては、標準品の販売が増加したため、前年同期比で増収増益となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高50億1百万円(前年同期比0.6%増)、営業利益3億45百万円(同45.2%増)、経常利益4億90百万円(同30.2%増)、四半期純利益3億64百万円(同28.2%増)となりました。

(2) 財政状態

当第2四半期会計期間末における総資産は163億24百万円と前事業年度末に比べ16億59百万円(11.3%)の増加となりました。

当第2四半期会計期間末における資産、負債及び純資産の状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(資産)

流動資産は125億31百万円であり、前事業年度末に比べ14億円(12.6%)の増加となりました。主な要因は、現金及び預金が12億72百万円増加したことと、受取手形及び売掛金が2億68百万円減少したことによるものです。

固定資産は37億93百万円であり、前事業年度末に比べ2億59百万円(7.3%)の増加となりました。主な要因は、建設仮勘定が2億62百万円増加したことによるものです。

(負債)

当第2四半期会計期間末における負債は50億9百万円であり、前事業年度末に比べ4億56百万円(10.0%)の増加となりました。

流動負債は39億91百万円であり、前事業年度末に比べ3億54百万円(9.8%)の増加となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が2億67百万円増加したことによるものです。

固定負債は10億17百万円であり、前事業年度末に比べ1億2百万円(11.2%)の増加となりました。主な要因は長期借入金が1億29百万円増加したことによるものです。

(純資産)

純資産は113億15百万円であり、前事業年度末に比べ12億2百万円(11.9%)の増加となりました。主な要因は、第三者割当による行使価額修正条項付第9回新株予約権他の行使により、資本金5億9百万円、資本剰余金5億26百万円がそれぞれ増加したこと及び四半期純利益を3億64百万円計上したことによるものです。一方で主な支出は、配当金1億96百万円となります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前事業年度末に比べ12億72百万円増加し、60億20百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間の営業活動において得た資金は、6億12百万円(前年同期比5億33百万円の収入増)となりました。これは主に、仕入債務の増加4億55百万円があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間の投資活動において使用した資金は、3億1百万円(同2億23百万円の支出増)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出2億59百万円があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間の財務活動において得た資金は、9億66百万円(前年同期は2億5百万円の支出)となりました。これは主に、株式の発行による収入9億87百万円があったことによるものです。

(4) 業績予想

2020年12月期の業績予想につきましては、現時点では2020年2月14日に発表した内容に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年12月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,373,311	6,646,017
受取手形及び売掛金	3,471,740	3,203,392
電子記録債権	767,751	832,352
有価証券	476	470
商品及び製品	716,661	900,883
仕掛品	480,666	568,870
原材料及び貯蔵品	314,309	321,318
その他	18,977	67,208
貸倒引当金	△12,774	△9,280
流動資産合計	11,131,122	12,531,233
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,036,951	2,055,014
その他	942,196	1,163,014
有形固定資産合計	2,979,147	3,218,028
無形固定資産		
75,572		111,321
投資その他の資産		
その他	520,903	493,498
貸倒引当金	△42,070	△29,641
投資その他の資産合計	478,833	463,857
固定資産合計	3,533,553	3,793,207
資産合計	14,664,676	16,324,441
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	786,947	1,054,359
電子記録債務	1,402,614	1,590,728
短期借入金	300,000	300,000
1年内返済予定の長期借入金	39,687	53,253
未払法人税等	124,483	137,989
製品保証引当金	26,817	24,984
賞与引当金	87,473	89,210
受注損失引当金	9,927	9,456
その他	858,849	731,468
流動負債合計	3,636,799	3,991,450
固定負債		
社債	100,000	100,000
長期借入金	55,510	185,169
退職給付引当金	732,959	712,863
その他	27,260	19,852
固定負債合計	915,730	1,017,884
負債合計	4,552,529	5,009,334

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年12月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,517,929	2,027,573
資本剰余金	1,525,338	2,051,733
利益剰余金	7,074,970	7,242,544
自己株式	△101,823	△76,161
株主資本合計	10,016,414	11,245,689
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	18,542	11,133
評価・換算差額等合計	18,542	11,133
新株予約権	77,190	58,284
純資産合計	10,112,147	11,315,106
負債純資産合計	14,664,676	16,324,441

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
売上高	4,974,518	5,001,920
売上原価	3,881,460	3,818,034
売上総利益	1,093,057	1,183,885
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	162,687	178,577
役員報酬	53,504	48,466
給料	254,601	262,383
貸倒引当金繰入額	△36	△15,922
賞与引当金繰入額	23,600	23,679
退職給付費用	31,035	16,045
製品保証引当金繰入額	△3,224	△1,833
その他	333,141	327,327
販売費及び一般管理費合計	855,310	838,724
営業利益	237,747	345,161
営業外収益		
受取利息	755	324
受取配当金	138,099	167,470
その他	10,900	7,074
営業外収益合計	149,755	174,869
営業外費用		
支払利息	1,153	1,196
株式交付費	—	12,574
為替差損	8,592	6,138
外国源泉税	—	9,116
その他	658	175
営業外費用合計	10,405	29,202
経常利益	377,098	490,828
税引前四半期純利益	377,098	490,828
法人税、住民税及び事業税	92,594	118,894
法人税等調整額	429	7,618
法人税等合計	93,024	126,512
四半期純利益	284,073	364,315

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	377,098	490,828
減価償却費	51,906	53,953
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△624	△15,922
賞与引当金の増減額(△は減少)	826	1,737
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△15,387	△20,096
受注損失引当金の増減額(△は減少)	304	△470
受取利息及び受取配当金	△138,855	△167,795
支払利息	1,153	1,196
売上債権の増減額(△は増加)	230,881	203,747
たな卸資産の増減額(△は増加)	△406,802	△279,434
仕入債務の増減額(△は減少)	62,601	455,526
その他	△150,433	△121,022
小計	12,667	602,247
利息及び配当金の受取額	96,350	118,508
利息の支払額	△1,242	△1,256
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△28,061	△106,588
営業活動によるキャッシュ・フロー	79,714	612,910
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△268,106	△268,129
定期預金の払戻による収入	268,085	268,108
有形固定資産の取得による支出	△39,654	△259,129
その他	△38,382	△42,588
投資活動によるキャッシュ・フロー	△78,057	△301,739
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	300,000	300,000
短期借入金の返済による支出	△300,000	△300,000
長期借入れによる収入	—	170,000
長期借入金の返済による支出	△20,706	△26,775
配当金の支払額	△178,956	△196,288
株式の発行による収入	—	987,599
自己株式の処分による収入	—	31,980
その他	△5,761	477
財務活動によるキャッシュ・フロー	△205,424	966,992
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8,001	△5,485
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△211,768	1,272,678
現金及び現金同等物の期首残高	4,611,581	4,748,099
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,399,813	6,020,778

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

新株予約権の行使に伴い、当第2四半期累計期間において資本金が509,644千円、資本剰余金が526,394千円それぞれ増加し、当第2四半期会計期間末において資本金が2,027,573千円、資本剰余金が2,051,733千円となっております。